

学校応援プロジェクト 2023 年度活動報告

中央大学附属横浜中学校進路・キャリア学習プロジェクト



6月17日（土）中央大学附属横浜中学校にて進路・キャリア学習プロジェクトを実施しました。このプロジェクトは中学校3年生に「大学で学ぶということ」について具体的なイメージをもってもらい、進学や将来のキャリア形成について考える入口とすることを目的とし、中央大学が実施する「中央大学と附属校の教育連携プログラム」の一環として行っています。

当日は、31名のプロジェクトメンバーが参加しました。また、昨年度にこのプロジェクトに参加し、当日は教育実習生として参加していたメンバーも運営面をサポートしてくれました。

当日実施したプログラムは次の3つです。中学3年生5クラスそれぞれに分かれて実施しました。

1. 「大学」「大学での学び」についてのガイダンス

中学生が大学や大学進学を自分ごととして考えるきっかけとなるよう、「大学ってどんなところ？」「学部って？」ということを知ってもらうガイダンスです。大学のキャンパスは広い！ということがスライドをみて人目でわかるようにしたり、ある学生の時間割を示したりするなどして、大学について具体的なイメージをもってもらえるよう工夫しました。

説明に引き続き、中央大学のキャンパスを動画でめぐるキャンパスツアームービーを上映します。このムービーは撮影からシナリオ作成、編集まですべてプロジェクトのメンバーによるオリジナルです。

2. アイスブレイク

学校応援プロジェクトが行う進路・キャリア学習では、生徒のみなさんがただ説明を聞くだけの機会とせず、大学生と対話することで進学を含めた自分の将来や進路について考える時間をつくることを大切にしています。とはいえ、中学生が初対面の大学生と少人数でいきなりお話してくださいと言われても難しいのが現状です。そこで、お互いの心の距離を縮めるため、班単位の活動に入る前に「アイスブレイク」としてミニゲームを実施しています。

今回は「共通点探しゲーム」として、進行役から出されたお題（例：「好きなアーティストは？」など）の答えを一斉に書き、班の中で答えが同じだった人の人数をお題に対する得点として、合計点を班で競うゲームを行いました。あちこちで歓声があがり、もりあがる姿がみられました。

3. 班単位の進路、キャリアに関する懇談・相談

アイスブレイクに引き続いて、班ごとに 1 人の大学生が入り、大学での学びのこと、進路選択のことについての懇談・相談を行います。

「大学生は日頃どんな学習をしているのか」「中学・高校時代の活動で、大学生になって役立ったことは？」「大学や学部をどうやって決めたか」などの質問に、それぞれの経験をもとに答えていきます。当日までの間、中央大学横浜中学校出身の学生が学校の進路選択の時期や動向をシェアしたり、自分の学部以外の学部・学問系統の学びについて情報交換をしたりと、メンバー全員が準備を行いました。また、大学生の生活をリアルに感じてもらえるよう、授業時間割や大学で使っている教科書を持参したメンバーもいました。

あっという間の 2 コマ・100 分間、生徒のみなさんはもちろん、プロジェクトメンバーの大学生たちも楽しい時間を過ごすことができました。

□アンケートの感想から□

- ・大学生から直接大学の時間割や授業について聞くことができたので大学がどんなものか知ることができた。
- ・中学でなぜ勉強をするのかという話を聞いて、もっと勉強を頑張ろうと思えた。今のうちにいろんなことをやっているほうが、後々役に立つんだと改めて認識した。今日のことを思い出しながら、少しずつ進路や将来のことを考えて固めていきたいなと思います。
- ・これまで大学について考えたことはほとんどありませんでしたが、実際に大学紹介を受けたり大学生の方と会って話したりしてみると大学生活について少し理解することができまし、憧れを感じられました。
- ・同じ学部でもみんな目指すところが違ったり、目的が違ったりすることに関心が持てました！とても楽しかったです！！
- ・大学生活が楽しみになりました！ありがとうございました！！



中央大学附属横浜中学校のみなさん、ありがとうございました！次はぜひ、大学のキャンパスでお会いしましょう！